

【松木杯の感染症対策について】

(1) 国府台陸上競技場会場のみ、試合開始前に施設に提出する文書①②を用意し受付時に本部に提出する。

①市川市スポーツ施設利用時における新型コロナウイルス感染拡大防止のためのチェックシート

②「市川市スポーツ施設使用者名簿」(観戦する保護者も含める)

※他の会場は、「使用者名簿(観戦する保護者も含める)」だけ作成し各クラブで保管。(後に感染等が判明した場合に必要になります。)

(2) 試合開始から終了までの流れ及び配慮事項は以下のとおりとする。

①当日の自宅での検温に加えて、会場到着後、試合開始までに、再度非接触型体温計等で検温し、体調の最終確認をする。

②試合中の指導者及び控え選手用のベンチは、原則として各チームが持参したものを使用する。

③試合前後の整列、握手を行わない。試合前時に両キャプテン、主審のみ集まり陣地を決定する。

④選手はキックオフ前にベンチより各ポジションに配置し準備する。

⑤試合終了時、選手はその場からベンチへ引き上げ、即ベンチから撤収する。

⑥ベンチ内の監督、控え選手はソーシャルディスタンス(2m)を必ず守り、密着しない。

⑦監督やコーチの大きな声での指導や指示、選手の大きな声での応援は禁止とする。

⑧原則として、飲水用の容器は選手個人専用、審判員専用の水筒を一人1本準備する。

※熱中症対策のため、やむを得ず、飲水用のペットボトル、氷単体、クーラーボックスを持ち込む場合は、使いまわしを避ける等の感染防止策を徹底すること。

⑨熱中症対策のため、選手、審判ともに、試合中の帽子の着用を可とする。

⑩熱中症対策のため、各会場担当クラブは、試合中のベンチに、日除け用のテントを用意すること。

(3) その他

①マスクの着用について

・会場内では、選手、指導者、保護者等の全員が、適宜マスクを着用(場や体調等に応じて着脱)し、会話は控えめにすること。

・試合中の出場選手と審判は、熱中症のリスクが高いため、マスクの着用を極力控えること。

・ベンチ内の選手、指導者は、適宜マスクを着用(場や体調等に応じて着脱)すること。

②会場内での飲食は可とするが、必要最低限に止め、食する場合は黙食等の感染防止対策を徹底すること。

③各チームの荷物置き場は、会場内でチーム同士が近づかないようにすること。(チーム内の距離含む)

④保護者の観戦は可とするが、ソーシャルディスタンス(2m)を必ず守り、マスクを適宜着用(場や体調等に応じて着脱)し、会話を控え、密を避けること。

⑤試合後にコロナウイルスの感染症状が確認された場合は、クラブ代表者を通じて大会事務局までお知らせ下さい。